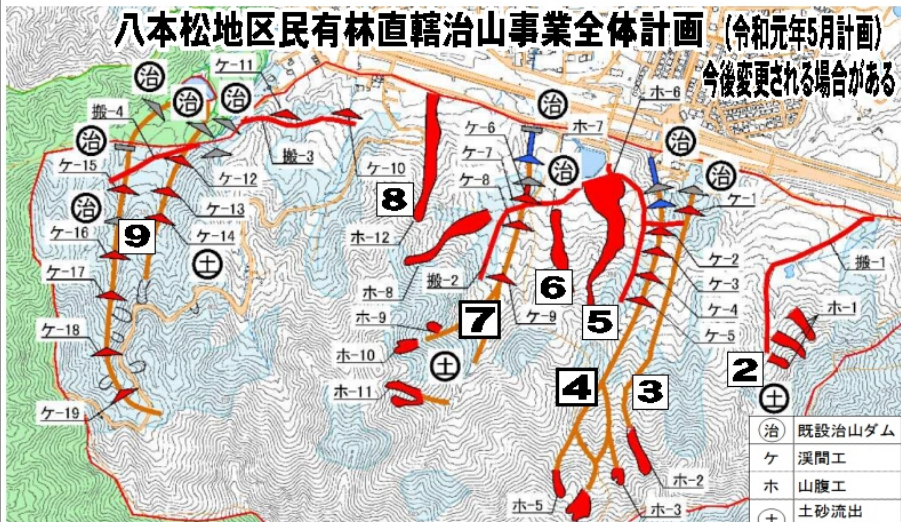


7.06西日本豪雨復旧事業 民有林直轄治山事業説明会

国直轄で行う治山事業 八本松地区全体計画

広島森林管理署 山地災害復旧対策室
 広島県西部農林水産事務所
 東広島市建設部



八本松地区民有林直轄治山事業全体計画（令和元年5月計画）
 今後変更される場合がある

事業対象 会場ケ城山北斜面の荒廃した溪流

本年度から治山事業による広域的な復旧対策

5月26日、林野庁山地災害復旧対策室、県西部農林水産事務所、市建設部は、八本松西、松風ハイツ、大山ハイツの各自治会関係者約40名の参加を得て、今後この地域で行われる本格的な西日本豪雨復旧事業の地元説明会を開催した。

現在、この事業は、農林水産省（林野庁）が広島県知事の要請を受け、昨年の豪雨で宗吉・大山・松風

地域に甚大な土砂災害を起こした会場ケ城山北斜面の溪流等の荒廃地を対象に国直轄の治山事業が進められている。

昨年年度は、二次災害防止のため、溪流下流域にある治山ダム周辺の災害応急対策が行われた。今年度から、昨年度行われた学識経験者による「治山復旧計画方針検討会」の結果に基づき、広域的な復旧対策が行われることになっており、その全体計画が26日の地元説明会で津脇山地災害復旧対策室長（林野庁）から地元関係者に具体的に説明された。

それによると、災害を引き起こした溪流等の荒廃地9カ所を今年度から10年間の予定で森林を復旧させ土砂災害等の防災を行うもの。

現状、下流域には治山ダム9基が設置されているものの、土石流はこれを取り越えて下流域に流出した。

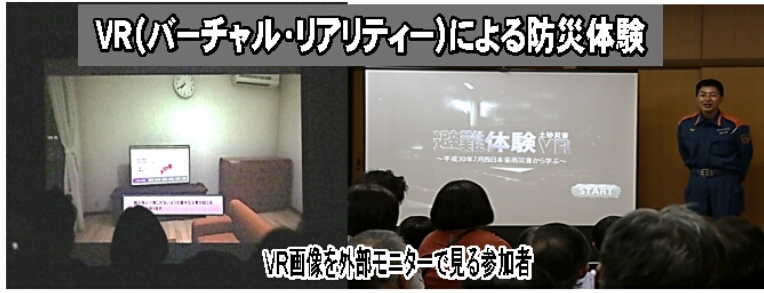
今年度からの本工事は、上流域の発生源対策で、土留めや植栽により山腹を安定させる山腹工12カ所、段階的に治山ダム18基を設け緩やかな流れに安定させる渓間工により森林を正常な状態にもし、その機能を利用した恒久的な防災対策が進められる。

本年度の工事は、溝迫交差点に甚大な被害をもたらした溪流④⑦（図：直轄治山事業全体計画）の上流に治山ダム2基設、流路工2カ所が災害関連事業として実施される予定。その他の荒廃地についても優先順位をつけ順次行われる。

参加者から溜池の点検や工事の安全対策、汚水対策、業者

不足による工期遅延対策等多くの意見が出され、今後の治山事業推進に考慮されることとなった。

大山ハイツ自主防災会



VR(バーチャル・リアリティー)による防災体験

VR画像を外部モニターで見る参加者

特にVR体験は初めての試みで頭部に付けたゴーグルのモニターから自分の動きに合わせた立体的な映像が映し出されるため、リアルに災害を体験することができた。また、心肺蘇生は毎年訓練に取り入れられているため、ほとんどの参加者は的確な動きをしていた。

大山ハイツ自主防災会は、6月2日東広島市消防署西分署を招き八本松西集会所で防災訓練を実施した。

西集会所には108人の住民の皆さんが集まり、VR(バーチャル・リアリティー)による防災体験、心肺蘇生訓練、AEDの取り扱い、簡易担架搬送訓練を行った。

第31回 市民スポーツ大会

陸上の部 八本松 準優勝

体育振興部会

今年も総合優勝か

日頃の練習 苦手種目を克服

令和元年6月2日
第31回東広島市民ス
ポーツ大会陸上の部
(34小学校区対抗)
が東広島運動公園体



準優勝した八本松小学校区チーム

八本松小学校区か
らは延べ37名の選手
が出場。4種目とも
上位に入り、総合2
位となる素晴らしい
成績を上げた。
最初に行われた
「ストラックアウト」
は、従来から苦手種
目であったが1投目

育館メインアリーナ
で開催された。今回
は、例年開催される
東広島市運動公園陸
上競技場がトラック
改修工事のため、体
育館のメインアリー
ナ（室内）に場所を
変更して行われた。
競技種目も9種目
中、八本松が最も得
意とする年代別リレー
など走る競技が全て
中止。残ったストラッ
クアウト等室内でも
できる団体競技4種
目に限定され実施さ
れた。



競技のスタートでストライクを決めた新道さん

育館メインアリーナ
で開催された。今回
は、例年開催される
東広島市運動公園陸
上競技場がトラック
改修工事のため、体
育館のメインアリー
ナ（室内）に場所を
変更して行われた。
競技種目も9種目
中、八本松が最も得
意とする年代別リレー
など走る競技が全て
中止。残ったストラッ
クアウト等室内でも
できる団体競技4種
目に限定され実施さ
れた。

（全34チーム中）。
続く「玉入れ」も
練習の成果が発揮さ
れ過去最高の19個が
的に入り12位。
更に、11名の小学
生による「みんな
でジャンプ」（大縄と
び）では運動会後、
選手に選ばれた6年
生の皆さんが100
回を目標に練習した
成果が見事に発揮さ
れ124回を記録。
全体でも3位となり
上位入賞に大きく貢
献。
最後の「大玉ころ
がし」では室内用に
競技内容が変更され
他チームが苦戦する
中、記録的なスピー
ドで全体2位と尻上
がりに成績を上げた。
その結果、団体戦
を最も得意とする宿
敵「中黒瀬」を僅差
（八本松132点、中黒
瀬134点）まで追い上
げ準優勝を果たした。
出場した選手の皆
さんに感想を聞くと
「100%力が発揮
できた」、「連覇で



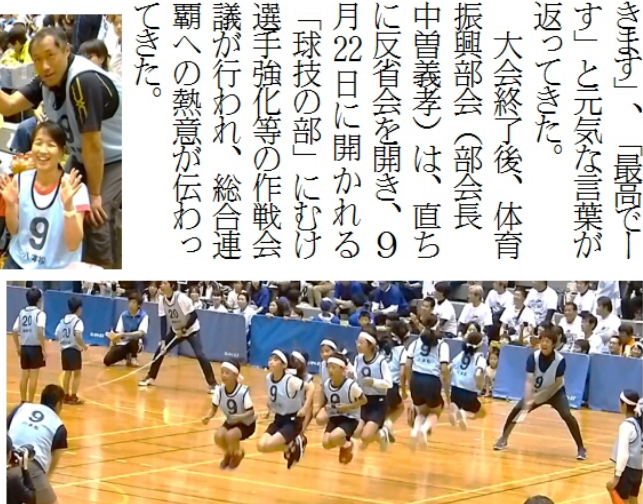
玉入れチームの皆さん



大玉チームの皆さん「最高です」



アンカーで締めた佐々木さん



素晴らしいジャンプ八小の皆さん

きます」、「最高で
す」と元気な言葉が
返ってきた。
大会終了後、体育
振興部会（部長長
中曾義孝）は、直ち
に反省会を開き、9
月22日に開かれる
「球技の部」にむけ
選手強化等の作戦会
議が行われ、総合連
覇への熱意が伝わっ
てきた。